

第29期生 煌星学年、125名が巣立ちました

卒業生が、5000人を越えました

旧角館中学校と白岩中学校が統合した昭和60年度の1期生は258名、それから29年、今年度で、卒業生が5000名を越えました。

今後の生徒の減少を考えると、10000名になるには、50年以上はかかるものと思います。

その頃の角中については想像もつきませんが、本校の古い歴史と伝統は確実に引き継がれていくものと思っています。



卒業式では、次のような話（一部、要約です）をさせていただき、3年生を送りました。

○次の「たぎつ瀬」の中でも、しっかり成長してほしい。

格調高い本校の校歌の歌詞に「たぎつ瀬」という言葉があります。

小さな谷川が合流し、水がわきあがり、さかまき、激しく交わり、やがて大きな流れとなる様子を表しています。皆さんは、中学校という「たぎつ瀬」を流れ終え、次の「たぎつ瀬」の中に、身を置こうとしています。

周りの方々と積極的に関わり合い、共に切磋琢磨することを恐れないでください。

周りに流されず、自分としっかりと向き合い、夢に向かって挑戦し続けてください。

「たぎつせ」の中でこそ、確かな成長ができるということを、心に刻んでほしいと思います。

○どんな時も、煌星のような輝きを失わないでほしい！

今年度は、「記録的・想定外」という言葉が何度も使われ、天候不順、災害の多い一年でした。

思いのままにならないのが自然現象です。しかし、晴れの日、曇りの日、雨の日、雪の日、どんな日にも、学年名の「煌星」は、遙か彼方でいつも輝き続けています。

これからの人生、良い事もたくさんあります。また、悲しいことや辛いこともあります。しかし、どんな時にも、煌星のような輝きを失わないでほしいと思います。

》》》》》 平成26年度の学級編成について 《《《《《

平成26年度は、今年度より生徒数19名減少する予定です。

【3月11日現在】

	1年生	2年生	3年生	けやきA	けやきB	合計
生徒数	104	102	105	2	3	316
学級数（正式の学級編成基準）	3	3	3	1	1	11
学級数（県の少人数推進事業）	4	4	4	1	1	14

- ・正式の学級編成基準 【1学級40名（81名以上→3学級、121名以上→4学級）】
- ・県の少人数推進事業 【学年100名以上 → 1学級増（3学級→4学級）】
【H25対象（1・2年） → H26対象（1・2・3年）】
- ・学級編成替えは、例年通り、1年生から2年生に進級する時のみ実施します。
- ・けやき学級は2学級、5名の生徒が在籍予定です。

東日本大震災から、今日で3年目です

津波てんでんこ → 自分の命は自分で守る

昔の怖い物の順番は「地震、雷、火事、オヤジ」、現在は「地震、通り魔、火事、交通事故」だそうです。いつの時代も、予測が難しく大きな被害をもたらす地震が一番です。

本日は半旗を掲げ、午後2時46分に1・2年生全員で黙祷をささげました。

岩手県の三陸海岸には「津波てんでんこ」という言葉があるそうです。

調べてみたら、「津波が来たら、取る物も取り敢えず、肉親にも構わずに、各自てんでんばらばらに一人で高台へと逃げる」ということです。その中には「自分が助かり、他人を助けられなかったとしても、それを非難しない」という意味もあるそうです。

本校の学区域では地震による津波は考えにくいのですが、家屋等の倒壊や火災、さらに、雪害、水害、交通事故等、命に関わる危険が身近にたくさんあります。また、学校や自宅以外の場所で災害に遭う可能性もあります。

最終的には、その時の状況を判断して、「自分の命は自分で守る」ことに尽きるように思います。学校でも常に注意を喚起して参りますが、ご家庭でもよろしくお願いします。



本校掲揚塔に半旗を掲げて



- 12日（水） 一般選抜合格発表
- 18日（火） PTA役員会
- 20日（木） 修了式
- 26日（水） 新入生一日入学
- 28日（金） 退任式・離任式



- 4日（金） 新任式・始業式
- 7日（月） 入学式（32期生）
- 11日（金） 仙北市標準学力検査（全学年）
- 16日（水） PTA総会（予定）
- 22日（火） 全国学力学習状況調査（3年）